

**第2期ふくい創生・人口減少対策戦略（案）および
福井県の人口の動向と将来見通し（令和2年改訂版）に関する
県民パブリックコメント意見募集の結果と県の考え方**

【基本戦略1】

No.	意見	意見に対する県の考え方
1	父親が家事・子育てにかけられる時間が多くなれば母親にも余裕が生まれ、子育てのしやすさを日々実感できる。父親への啓蒙にもっと注力が必要。	男性の家事・育児に対する意識改革と参加を一層促進し、男女が共に楽しく働き、生活できる環境をつくとともに、経営者の理解も醸成しながら、男女ともに長時間労働を前提としない働き方を進める「共働き方改革」を推進します。
2	福井県の独自制度である「社員ファースト企業」の認定などに力を注いでいくべき。	日本一社員を大切にする県をめざし、経営者と従業員がともに進める働き方改革に向けた「社員ファースト企業」宣言や宣言企業の取組みへの支援、宣言企業の優れた職場環境のPRなどにより、企業の働きやすい職場づくりを進めていきます。

【基本戦略2】

No.	意見	意見に対する県の考え方
3	福井の良さ・素晴らしさを活かした企業、大人の魅力に関し、子供たちにインパクトを与える仕組みが必要。	ふるさとに愛着を持ち、地域社会に参画する気持ちを育てる「ふるさと教育」の実施に加え、本県ゆかりの企業経営者や地元企業の技術者による授業開催など産業界と連携したキャリア教育を推進します。 また、教育・研究活動を通じた大学と県内企業とのつながり強化や県内企業の魅力を伝える機会を拡大していきます。 (関連：基本戦略3、4)

【基本戦略3】

No.	意見	意見に対する県の考え方
4	若者にとってやりがいがあり、魅力に感じる仕事に就くことができる労働環境、雇用環境を整備すべき。	「若者に魅力ある仕事の創出」は、戦略の柱の一つとして位置付けており、若者や女性に選ばれる企業の誘致や、魅力ある職場環境づくりを進めていきます。
5	農業やモノづくりなど様々な方面で技術や技能を磨くことが大切。	ふくい園芸カレッジ、ふくい水産カレッジ、ふくい林業カレッジにおける研修実施や伝統工芸職人塾の充実により、農林水産業や伝統産業などの人材育成機能を強化し、地域産業の担い手づくりを進めていきます。 (関連：基本戦略4)

【基本戦略4】

No.	意見	意見に対する県の考え方
6	ライフワークバランスの取れた社会において、県民の発表、交流の場を日常生活の中に存分に散りばめるべき。	若者が行う福井を元気にする活動や、高齢者が参加するスポーツサークル、ボランティア活動などへの支援により、みんなが地域社会に参画できる、全員参加型の社会づくりを進めていきます。
7	いわゆる就職氷河期世代（ロスジェネ世代）ながら、福井で頑張っている人たちもいるので、この人たちが流出しなくてもいいような施策もお願いしたい。	いわゆる就職氷河期世代など、当時の社会環境により、不本意に非正規雇用で働く方々にも、福井に住み続けていただけるよう、就業相談や職業訓練の実施などの支援を一段と強化していきます。
8	公共交通機関の整備などにより、老若男女がお互いに助け合い、皆が生き生きと暮らせる地域づくりを進めるべき。	生活バス路線の運行支援やライドシェア、自動運転の早期実用化などに加え、有償ボランティアなど新たな助け合いの仕組みにより、持続可能な地域社会づくりを進めていきます。